

日本獣医麻酔外科学会演題登録フォーム

抄録の登録

～タグ挿入や本文の入力について～

1. 「演題名」

- 最上段に「タイトルタグ」を挿入して、「演題名」を記入してください。

例：<タイトル>演題名</タイトル>

① 「タイトル」 ボタンをクリック

② 本文画面に「<タイトル></タイトル>」が表示される

③ 「<タイトル>」と「</タイトル>」の間に演題名を入力する

抄録の登録

タグの種類

タイトル 口演者 共同演者 所属

見出し イタリック アンダーライン 上付き 下付き

バリデーション

- ・総文字数 1,500文字 (タグを含まない)
- ・機種依存文字は使用不可

<タイトル></タイトル>

本文

抄録の登録

タグの種類

タイトル 共同演者 所属

見出し イタリック アンダーライン 上付き 下付き

バリデーション

- ・総文字数 1,500文字 (タグを含まない)
- ・機種依存文字は使用不可

<タイトル>Context-sensitive half-timeに基づいた猫におけるフェンタニルの薬物動態学的検討</タイトル>

2. 1行空ける

3. 「口演者ならびに共同演者の氏名」

- 「口演者タグ」を挿入して、口演者氏名を記入してください。
- 口演者氏名の前には「○」を付けてください。
- 所属が複数の場合は、氏名の後ろに「所属」に対応する番号を記入してください。

例：<口演者>○東京太郎1) </口演者>

抄録の登録

タグの種類

タイトル 口演者 共同演者 所属

見出し イタリック アンダーライン 上付き 下付き

バリデーション

- ・総文字数 1,500文字 (タグを含まない)
- ・機種依存文字は使用不可

<タイトル>Context-sensitive half-timeに基づいた猫におけるフェンタニルの薬物動態学的検討</タイトル>

<口演者></口演者>

④改行して一行空ける

⑤「口演者」ボタンをクリックすると、本文画面に「<口演者></口演者>」が表示される

抄録の登録

タグの種類

タイトル 共同演者 所属

見出し アンダーライン 上付き 下付き

バリデーション

- ・総文字数 1,500文字 (タグを含まない)
- ・機種依存文字は使用不可

<タイトル>Context-sensitive half-timeに基づいた猫におけるフェンタニルの薬物動態学的検討</タイトル>

<口演者>○飯塚智也1) </口演者>

⑥「<口演者>」と「</口演者>」の間に○を前につけて口演者氏名を入力する。複数の所属がある場合は番号も記入する

3. 「口演者ならびに共同演者の氏名」 (つづき)

- 改行し、「共同演者タグ」を挿入して、共同演者氏名を記入してください。
- 所属が複数の場合は、氏名の後ろに「所属」に対応する番号を記入してください。
- 共同演者が複数の場合は、演者の間で「カンマ (,) 」で区切ってください。

例：<共同演者>東京二郎2) , 東京花子3) </共同演者>

The screenshot shows a software interface for tag registration. At the top, there is a section titled "抄録の登録" (Abstract Registration) with a "タグの種類" (Tag Type) dropdown menu. Below this are several buttons: "タイトル" (Title), "口演者" (Speaker), "共同演者" (Co-author), "所属" (Affiliation), "見出し" (Section Header), "イタリック" (Italic), "アンダーライン" (Underline), "上付き" (Superscript), and "下付き" (Subscript). A red arrow points from the "共同演者" button to a callout box.

Callout ⑦: 改行して、「共同演者」ボタンをクリック (Press the "Co-author" button after pressing Enter).

Callout ⑧: 本文画面に「<共同演者></共同演者>」が表示される (The text "<共同演者></共同演者>" is displayed on the main text screen).

Callout ⑨: 「<共同演者>」と「</共同演者>」の間に共同演者を入力する。複数の所属がある場合は番号も記入する。共同演者が複数の場合は、「 , 」 (カンマ) で区切る (Enter the co-author name between "<共同演者>" and "</共同演者>". If there are multiple affiliations, also enter the number. If there are multiple co-authors, separate them with a comma (,).

The main text area shows the following text: 検討</タイトル> Context-sensitive half-timeに基づいた猫におけるフェンタニルの薬物動態学的検討</タイトル> <口演者>○飯塚智也1)</口演者> <共同演者></共同演者> (The second line is highlighted in red in the original image).

The bottom part of the screenshot shows a validation message: バリデーションエラー (Validation Error). The error message states: 総文字数 1,500文字以内 (Total character count within 1,500 characters) and 機種依存文字は使用不可 (Machine-dependent characters are not allowed). Below this, the text is: <タイトル>Context-sensitive half-timeに基づいた猫におけるフェンタニルの薬物動態学的検討</タイトル> <口演者>○飯塚智也1)</口演者> <共同演者>鎌田正利1), 長久保大1), 牟田佳那子2), 西村亮平2)</共同演者> (The last line is highlighted in blue in the original image).

4. 「所属」

- 改行し、「所属タグ」を挿入して、「所属」を記入してください。
- 所属の前には、「口演者ならびに共同演者」に対応する番号を記入してください。

例：<所属>1) 東京大学 農学部 獣医内科学教室 2) A動物病院 3) B動物病院</所属>

The screenshot shows a software interface for recording metadata, divided into two panels: "抄録の登録" (Recording Abstract) and "バリデーション" (Validation).

抄録の登録 (Recording Abstract):

- タグの種類 (Tag Type):** Includes buttons for タイトル (Title), 口演者 (Speaker), 共同演者 (Co-speaker), 所属 (Affiliation), 見出し (Section Header), イタリック (Italic), アンダーライン (Underline), and 上付き (Superscript).
- タグ挿入 (Tag Insertion):** A text area where tags are entered. The example text is: <タイトル>Context-sensitive half-timeに基づいた薬物動態学的検討</タイトル>
<口演者>〇飯塚智也1)</口演者>
<共同演者>鎌田正利1), 長久保大1), 牟田佳那子</共同演者>
<所属></所属>
- 本文 (Main Text):** The rendered output of the tags, showing the affiliation tags as <所属></所属>.

バリデーション (Validation):

- バリデーション (Validation):** Shows the total character count (1,500 characters, excluding tags) and a note that special characters are not used.
- タグ挿入 (Tag Insertion):** The rendered output of the tags, showing the affiliation tags as <所属>1)東京大学 動物医療センター 麻酔・集中治療部 2)東京大学 大学院農学生命科学研究科 獣医外科学研究室</所属>.

Callouts:

- ⑩ 改行して、「所属」ボタンをクリック (Press the "Affiliation" button after pressing Enter)
- ⑪ 本文画面に「<所属></所属>」が表示される (The tags are displayed on the main text screen)
- ⑫ 「<所属>」と「</所属>」の間に所属機関名を入力する (Enter the affiliation name between the tags). 複数の所属がある場合は、演者に記載した番号に対応する番号をの各所属名の前に記入する (If there are multiple affiliations, enter the number corresponding to the number recorded for the speaker in front of each affiliation name). 複数の所属は、「 」 (スペース) で区切る (Separate multiple affiliations with a space).

5. 1行空ける

6. 「本文」

• 「見出しタグ」を挿入して、各項目の内容を記入してください。

例：<見出し>はじめに</見出し>*****（はじめにの内容）*****。

⑬改行して
一行空ける

⑭「見出し」ボタンをクリックすると、
本文画面に「<見出し></見出し>」が
表示される

⑮「<見出し>」と「</見出し>」の間に
項目名（ここでは「はじめに」を入力し、
「</見出し>」の後に項目内容を入力する
（ここでは、「はじめに」の内容を入力）

6. 「本文」 (つづき)

- 残りの項目についても、項目ごとに改行し、それぞれ同様に入力してください。
- 「症例報告」では【はじめに】、【症例】、【臨床経過】、【考察】の順に、「研究報告」では【はじめに】、【材料（あるいは症例）と方法】、【成績】、【考察】、【結論】の順に、それぞれの項目内容を書いてください。

抄録の登録

タグ挿入

■ タグの種類

タイトル	口演者	共同演者	所属	
見出し	イタリック	アンダーライン	上付き	下付き

■ バリデーション

- 総文字数 1,500文字 (タグを含まない)
- 機種依存文字は使用不可

<タイトル>Context-sensitive h
検討</タイトル>

<口演者>〇飯塚智也1</口演者>
<共同演者>鎌田正利1), 長久保大1
<所属>1)東京大学 動物医療センタ
科 獣医外科学研究室</所属>

<見出し>はじめに</見出し>現在の獣医療では術前鎮痛としてフェンタニルの使用が増えている。・・・(中略)・・・今回我々は、猫におけるフェンタニルの薬物動態モデルを用いてCSHTを
検討し、猫における適切なフェンタニルの用法について考察した。
<見出し>材料と方法</見出し>猫で報告されている薬物動態モデルを用いて、・・・(中略)・・・
それぞれ算出し、演者らが過去に報告したオと人のCSHTと比較した。
<見出し>結果</見出し>いずれのモデルにおいても投与持続時間が長くなるとCSHTは延長した
が、投与持続時間が・・・(中略)・・・人の薬物動態モデル (Scott & Stanski) のCSHTとは大
きく異なっていた。
<見出し>考察</見出し>今回の検討では、猫におけるフェンタニルのCSHTは犬に類似しており
人間とは大きく異なることが確認された。・・・(中略)・・・人間で言われているような呼吸抑
制や覚醒遅延などの問題が生じる可能性は比較的低いと考えられた。

本文

⑩項目ごとに
改行する

⑩' 「見出し」 ボタンをクリックし、
本文画面上の「<見出し>」と「</見出し>」の間に、項目名を、
「</見出し>」の後に、項目内容を入力する

⑩'' 必要な項目分、⑩～⑩'を繰り返して、
入力を完成させる

7.注意事項

- 字数は全体で1500字以内としてください。
- イタリック、アンダーライン、上付き、下付きは、タグを挿入することで入力可能です。
- 機種依存文字は使用しないでください。
- 文字数が超過している場合や、機種依存文字が使用されている場合は「確認画面」へは進めません。
- プレビューボタンを押して、内容の確認を行ってから送信してください。

抄録の登録

タグ挿入

タグの種類

タイトル	口演者	共同演者	所属	
見出し	イタリック	アンダーライン	上付き	下付き

バリデーション

- ・総文字数 1,500文字 (タグを含まない)
- ・機種依存文字は使用不可

本文

現在の文字数: 531
機種依存文字: 無し

プレビュー

⑰「現在の文字数」が1,500文字以内
「機種依存文字」が「無し」
であることを確認する

⑱「プレビュー」
ボタンをクリック

Context-sensitive half-timeに基づいた猫におけるフェンタニルの薬物動態学的検討
○飯塚智也1)
鎌田正利1), 長久保大1), 幸田佳那子2), 西村亮平2)
1) 東京大学 動物医療センター 麻酔 集中治療部 2) 東京大学 大学院農学生命科学研究科 獣医外科学研究室

【はじめに】現在の獣医療では周術期の鎮痛としてフェンタニルの使用が増えている。…(中略)…今回我々は、猫におけるフェンタニルの薬物動態モデルを用いてCSHTを検討し、猫における適切なフェンタニルの使用法について考察した。

【材料と方法】猫で報告されている薬物動態モデルを用いて、…(中略)…それぞれ算出し、演者らが過去に報告した犬と人のCSHTと比較した。

【結果】いずれのモデルにおいても投与持続時間が長くなるとCSHTは延長したが、投与持続時間が…(中略)…人の薬物動態モデル (Scott & Stanski) のCSHTとは大きく異なっていた。

【考察】今回の検討では、猫におけるフェンタニルのCSHTは犬に類似しており、人間とは大きく異なることが確認された。…(中略)…人間で言われているような呼吸抑制や覚醒遅延などの問題が生じる可能性は比較的低いと考えられた。

閉じる

⑲プレビュー画面が表示されるので、
内容や体裁、文字化けの有無を確認する
「閉じる」ボタンを押し、必要があれば適宜修正し、
問題なければ登録作業を続ける